

足立区教育委員会會議録

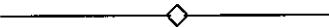
平成29年11月9日

第11回足立区教育委員会

午後3時00分開会

○教育長 それでは、ただいまから本年第11回足立区教育委員会定例会を開会いたします。本日の出席委員数は定足数であります。よって会議は成立いたします。

それでは、これより審議に入ります。



○教育長 初めに、会議録署名員の指名をいたします。本日の会議録署名に杉田委員、小池委員をご指名しますので、よろしくお願ひいたします。

それでは日程第1、第67号議案を議題といたします。
庶務係長。

○庶務係長 日程第1、第67号議案「足立区こども未来創造館の指定管理者の指定の送付について」以上。

○教育長 第67号議案について、和泉地域のちから推進部長から説明をお願いいたします。

地域のちから推進部長。

○地域のちから推進部長 資料の2ページをご覧いただきたいと思います。第67号議案説明資料になります。件名、所管部課名は記載のとおりでございます。

足立区ギャラクシティ指定管理者選定審査会の審査の結果、候補者が選定されたので、今度の平成29年度第4回区議会定例会を経て、指定管理者として指定するものでございます。

対象施設ですが、1番に書いてあるとおり名称、足立区こども未来創造館でございます。2番、指定の期間ですが、平成30年4月1日から35年3月31日ということで5年間になります。3番に指定管理者の候補者名を記載させていただいております。みらい創造堂でございます。それから4番、応募事業者数ですが、2事業者ございました。5番に現在の管理者名を記載させていただいてございます。

それから、6番に候補者になった理由・ポイントを若干書かせていただいておりますが、今後ギャラクシティをどうしていきたいか、方向性をどうするのか、それから区民利用の増加ですか区民還元についてもしっかりと考えていたということが、ポイントでございます。

それから候補者となった経過を7番（1）から記載させていただいております。（1）公募が29年4月から行いました。それから3ページの（2）財務状況調査を行いまし

た。（3）選定委員会を3回ほどやりました。その中に②のところに委員構成を記載させていただいております。それから（4）で労働条件審査を行ってございます。次のページ、4ページになります。候補者の職員の平均勤続年数と平均給与を記載させていただいております。それから指定管理料の見積もり金額は記載のとおりということでございます。それから添付資料が別紙1から2、3、4ということで、5ページ以降につけさせていただいているので、後ほどお読みいただければと思います。ご審議のほどよろしくお願ひします。

○教育長 ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。第67号議案について、ご意見、ご質問がありましたら、ご発言をお願いいたします。何か質疑はありますか。

葉養委員。

○葉養委員 4ページに平均給与がありますね。これを見るとヤオキンと協栄で随分、例えば管理職の給与が違うのですけれども、これについてちょっと説明いただければと。

○教育長 地域文化課長。

○地域文化課長 委員ご指摘のとおり、このまま読み込みますと半分以下の金額で協栄は出ております。私どもで協栄、それから税理士に確認したところ、基本給与の中に入らないものとして、報奨という形で管理職には支払いをしていると。

ですから、実際に払っている金額、年収においては遜色はないのですが、平均給与の求め方としますとその部分を除外しておりますという回答でございます。

○教育長 よろしいですか。

○葉養委員 はい。

○教育長 私から質問ですが、5ページと6ページを見ると、5ページではみらい創造堂ではなくてA社のほうが上だった。で、二次審査で逆転したと。こういうことでいいですか。

地域文化課長。

○地域文化課長 はい、ご指摘のとおりでございます。

○教育長 なるほど。もう1つだけ。プラネタリウムがあるではないですか、これはこのみらい創造堂というグループですよね、2社のグループですけれども、ここで十分運営できると考えていいのですか。

地域文化課長。

○地域文化課長 プレゼンテーションの中で今回とりました業者のほうからの提案は、まず国立天文台にお勤めになっていた方が1名、招聘されます。それから、これ以外に他社ではあるのですけれども、勤続して経験のある方を招聘するということで紹介をいただいておりますので、大丈夫かという判断を受けております。

○教育長 ありがとうございました。ほかにご意見、ご質問ありましたら、挙手お願いしたいのですが、いかがですか。
大丈夫ですか。

(なし)

ほかにないようですので、これより、第67号議案「足立区こども未来創造館の指定管理者の指定の送付について」を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

挙手全員であります。よって、本案は原案のとおり議決することにいたします。

和泉地域のちから推進部長、浅見地域文化課長はこれで退席させていただきます。お疲れさまでした。ありがとうございます。

次に、日程第2、教育長報告です。

本日は平成29年第3回区議会定例会での主な質疑について、ご報告いたします。5つばかりのご報告をしたいと思います。資料はありません。

本会議でのご質問では、まず育英資金の見直しについて基本的な考え方、あるいは概要、あるいは特徴を質問されております。

区の新たな制度では、大学進学に向けた視点に重点を置くということ。従来の貸付型の奨学金から助成型に転換するということ、これは具体的には大学入学準備金を支払うために利用する国の教育ローン、あるいは国の奨学金の返済を支援するということです。また、国等の制度を活用することにより、課題でありました連帯保証人の確保が必要なくなったということ。また、進学に向けて努力している低所得者層を中心に支援を行うことに特徴があると。このように答えさせていただいております。

2つ目ですが、2つ目はICT教育の環境整備というこ

とでご質問をいただいています。

これについては、学力定着にもICTが有用だということ。あるいは主体的・対話的で深い学びを掲げている新学習指導要領の具現化に向けて、このICT教育環境の整備を進めていくものと認識しているというお答えをしまして、さらに別の方のご質問ですけれども、特別支援についてもあわせて活用について検討していくというお答えをさせていただいております。

続いて、区立小中学校の人事権の移譲についてというご質問です。前にも何度もかいたでいるのですけれども、特別区の教育長会、23区が参加しているわけですけれども、長期的視点を持ち、あるいは地域の実情に応じた学校教育を推進するために、区立小中学校の教職員の人事権、定数などの権限及び財源を特別区に移譲するよう継続的に要望化されているとご回答し、8月に実は要請行動を行っているのですけれども、これについても紹介させていただきました。

次に、教員の負担軽減の取り組みについてというご質問を受けております。長時間勤務によって支えている現状は、既にもう限界に来ていると。この軽減策についてのご質問であります。

教育委員会では、既に中学校には生活指導員、あるいは小学校には学習支援員を配置していると。今後も文部科学省、スクールサポートスタッフですか、あるいは東京都の動向を見極めながら、一層の充実を図りたいと、このように答えております。

最後に、適正規模・適正配置の計画についてご質問がありました。江北・鹿浜地区においては集中的に統合が進んで、小学校が6から3、中学校が4から2になってしまふと。学校は50年もの間、地域の中心としての役割を果してきたと。児童生徒が減少し、やむを得ない決断であるとは思うが、これからも4校の統合が計画されているので、地域の要望をしっかりと聞き、地域の皆さんに愛される新校となるように期待したいと。こういうご質問をいただいております。

これについては、教育委員会として、新しい学校が脈々と受け継がれてきた両校の歴史や文化を融合させ、地域とともに歩み、愛される学校になるよう今後とも丁寧に取り組んでいくということで、2つの地区の計画についても地

域の要望を早目にお聞きする機会をつくるということで努力することをお話しして、ご回答さしあげているところです。

私から本会議の第3回定例会での主な質疑についての報告は、終わりにしたいと思います。

続いて、報告事項に移ります。今日は5件あります。では、まず①について、荒井教育政策課長お願ひします。

教育政策課長。

○教育政策課長 資料1 4ページをご覧ください。「足立学校支援者に対する感謝状贈呈にかかる要綱の制定について」ご説明します。

学校支援者に対する区の感謝状につきましては、これまで開かれた学校づくり協議会の会長が退任をされるときの感謝状のみでございました。しかしながら、学校のため、また子どもたちのためということできまざまな活動を長い期間にわたりてご助力いただいている方も多数いらっしゃるということを踏まえまして、資料の2番に記載のとおり、こうした活動を行われている方について、感謝状を出せるように新たに要綱を制定させていただくものでございます。

今後、学校長、あるいは開かれた学校づくり協議会へ推薦のお願いを申し上げまして、1月に審査会を行って、2月以降の開かれた学校づくり協議会で感謝状を贈呈していくところからスタートさせていただきたいと考えております。私からは以上です。

○教育長 続いて、②について小坂教育指導課長、お願ひします。

教育指導課長。

○教育指導課長 私からは第10回教育委員会定例会で報告させていただきました「体力調査」でございますが、資料2、3及び4を具体的かつわかりやすく変更させていただきましたので、ここにご報告させていただきます。

資料1は、前回と変更はございません。資料2を簡単に説明させていただきます。A校からJ校、小学校10校です。中学校6校、K校からP校という形で、詳細を一覧にさせていただきました。

A校で言うと1番や4番にあるように、黒い網かけに関してはこの学校の重点項目、例えばA校であれば準備運動、そして整理運動で投げる項目を少し意識していきま

すという形で示させていただいております。次にC校をご覧ください。白い中抜きの丸に関しましてはこれまでの取り組みでやっていたもの、黒い丸に関しましては指定を受けた後、重点に取り組んでいこうというものでございます。そちらを一覧にさせていただきました。

下をご覧ください。3の下ですが、体力調査区順位でございますが、これは区内の順位になっております。その下、投力の平均値です。東京都の平均値も参考に出しましたが、A校で言えば男子が16.4メートル、女子が9.9メートルという形で記載させていただいております。アンダーラインがついているものに関しては、都の平均値を下回っているという形で示させていただいております。

そして、1から12の項目がございますが、準備運動から始まり放課後子ども教室、この具体的な内容を資料3が小学校です。資料4が中学校、具体的にはこのような形で取り組んでおりますという例を記載させていただきました。以上でございます。

○教育長 ご質問については全ての報告が終了してから、まとめてお願いしたいと思います。

それでは③について、森学力定着推進課長お願ひします。
学力定着推進課長。

○学力定着推進課長 20ページをご確認ください。件名は「新学習指導要領の完全実施に向けた小学校『外国語活動』の授業時数確保等に関する方針について」でございます。

1番の表をご覧ください。現在、平成29年度の小学校の外国語活動の数ですけども、小学校3年生、4年生では20時間、それから5年生、6年生では35時間を配当しております。それが新学習指導要領が完全実施になる32年度をご覧いただきますと、3年生、4年生では35時間に、それから5年生、6年生では70時間に増えるというところでございます。時間数が増えることを踏まえまして、段階的かつ円滑に移行するということで今回方針を定めるものでございます。

その方針ですけれども、まず(1)、時数につきましては平成30年度は中学年、つまり3年生、4年生は35時間の外国語活動、高学年は50時間以上の外国語科を行う。31年度は中学年は35時間の外国語活動、高学年は70時間の外国語科を行うということにいたしたいと思いま

す。

時間数の確保についてですけれども、授業数の増加分につきましては各学校が教育課程編成における工夫をして確保する。その際、国の移行措置を踏まえまして、15時間を超えない範囲で総合的な時間から確保してもよいということになっております。

移行期間中の教材については国が示す新教材を活用してまいります。移行中の評価につきましては記載のとおりでございます。授業の支援でございますけども、授業数の増加に対しましては外国語活動のスーパーバイザー、アドバイザーを計画的に増員して、現在の授業支援率を確保してまいりたいと考えております。以上でございます。

○教育長 続きまして④と⑤について、田巻子ども施設整備課長、お願いします。

子ども施設整備課長。

○子ども施設整備課長 21ページをお開きください。「民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について」をご報告いたします。加平・谷中地域、綾瀬駅北側地域の具体例でございます。

まず加平・谷中地域でございますけれども、社会福祉法人三樹会というものが選定されております。定員は120名の予定となっております。選定理由でございますけれども、園長予定者の適性、実地調査及び経営の安定性の評価が高かったということでございます。

次のページでございますけれども、綾瀬駅北側地域。こちらは株式会社Kids Smile Projectが選定されております。定員については71名の予定。選定理由については行政からの指導に対する法人の姿勢、実地調査、経営の安定性の評価というところが高かったということでございます。

今後につきましては地元の町会・自治会長と事業者を引き合わせて、必要に応じて住民説明会等を行っていくということでございます。

23ページから29ページについては報告資料になりますので、後ほどお目通しいただければと思います。

続きまして30ページをお開きください。⑤番、「足立区環境整備基準に基づく小規模保育園施設の設置について」を続けてご報告させていただきます。

こちらにつきましては区の公募によるものではござい

ません。足立区環境整備基準というものに基づきまして、住宅を開発する事業者に一定程度の努力義務を課している中で、小規模保育園施設を設置していただくというものでございます。

まずは運営予定事業者のところでございますけれども、(1)の新田地域というところでございます。こちらは株式会社明日香というところが選定しております。主に院内保育をやっているところでございます。こちらについては新田一丁目の319戸の大規模のマンションができるところなのですけれども、来年4月の開設ということでお15名の施設ということになっております。

続きまして(2)の島根地域でございますけれども、こちらはエルシーワークス株式会社というところがつくる施設でございます。こちらについては島根四丁目にできます81戸のマンションに小規模施設をつくるものでございまして、16名の定員になっております。

恐れ入りますが、32ページから35ページが関連資料になっておりますので、あわせてご了承いただければと思います。報告は以上でございます。

○教育長 ただいま、各所管から5つの報告事項がありました。これらの件につきまして各委員についてご意見、ご質問がありましたら、ご発言をお願いします。いかがでしょうか。

小池委員。

○小池委員 お願いというか、2つあります。1つはこの体力向上の調査の件で、例えば小学校は10校、中学校は6校、こうやって取り組みしてやっていただくということであります。まず1つ、何もやらずに4ヵ月、5ヵ月過ごしても、やはり体力的に少し伸びた分、投力が上がっているということも考えられるので、取り組んだところと取り組んでないところ、取り組んだところの伸び率だけではなくて、取り組んでいないところとの伸び率の比較が、正確なデータに近づくのではないかと思うので、その点をどちらかの学校で比べられたらありがたいということです。

それから2点目は外国語活動のことで、働き方改革で教員の負担をなるべく低減しましょうということなのだけれども、結局外国語が増えることで、現場の先生方はその分、教材研究を新たにというか、今まで高学年は外国語

活動をやっていましたけれども、その分が増えるわけなので、そういう意味では教科が増えて、今、ではここでアドバイザーの方がいろいろこうやって活躍してくださるということなので、ぜひそういう意味で、担任の先生になるべく負担がかからないように、アドバイザーの方にうまくやつていただけると、負担感が少しでも軽くなるのではないかと思いますので、よろしくお願ひします。以上です。

○教育長 ありがとうございます。

教育指導課長。

○教育指導課長 比較検証校につきましては、こちらも検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

○教育長 学力定着推進課長。

○学力定着推進課長 教員の負担感については先生のおっしゃるとおりでございまして、なるべくそういうように心がけて取り組むようにしていきたいと思います。

○教育長 よろしいでしょうか。杉田委員。どうぞ。

○杉田委員 感謝状のことなのですけれども、今、学校を回っていると本当に学校の校長先生やPTAだけでは、とても学校の運営が大変というのが見受けられます。

開かれた学校づくり協議会というのは、今は各学校に必ずあるということなので、こういった感謝状をお渡しして地域の方をどんどん学校に引き入れていくということは、これから最も大切なことではないかなと思います。

これはどのような、具体的に応募されたら、何人までとか、そういった細かいことはもう決まっているのでしょうか、選定方法など。

○教育長 教育政策課長。

○教育政策課長 資料の2番に記載のとおりなのですけれども、ここに書いてあるような活動内容、あるいは活動期間といったようなものが満たされている方については感謝状を全て出していこうという方針で考えております。

○杉田委員 全て出していく。ありがとうございます。よろしくお願ひします。

○教育長 よろしいですか。

では浅井委員、お待たせしました。

○浅井委員 体力調査のことなのですけども、いろいろ投げます。いろいろな工夫を考えていたら、多分、いい結果が出ると思います。

もう1つはやはり成長期の子なので、やつているときは

ものすごく体力がすぐつきやすいのですけれども、やらなくなるとすぐ落ちるということもあると思います。

実際問題本当に、今、マラソン大会とか持久走大会があるような今の時期に持久走の測定をしたらかなり高いと思うのですね。でもやはり春だとかなりもう落ちてしまつてるので、結局そのときに測定すると、もう本当に低い結果というのが出てしまうと思うので、そういう意味ではやはり継続的にいかにやっていくかということが大事ではないかなと思います。

多分、子どもたちって目標を持たせてやれと言ったら、その時期は頑張ってやるのですけども、結局楽しくなかつたらその次はやらないので、できれば本当にゲーム感覚を持って遊び感覚というか、子どもたちが自らやれるような方向性をつくっていくと、年間を通して継続的にやっていき、そして測定の時期も上がっていくのではないかと思いますので、ぜひ継続的にやれるような方法で考えていただきたいなと思っています。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 ありがとうございます。私もこの資料2の中で、やはり体育授業では横断的に投力のところ、教師も一緒に考えながら、来年度以降も位置づけていければいいなど。そして2番のところ、体育以外、休み時間等でまさに日常化、環境で何かアプローチできるところはないかなというところも、今回のモデル校の実施を見て、あまりイベント的ではなく、日常でできるようなところを各校に周知をしてまいりたいと考えております。

ありがとうございます。

○教育長 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。学习事業部長。

○学习事業部長 放課後子ども教室のほうでも、子どもたちが遊びの中で続けていけるようなものを見出していきたいと考えております。

○教育長 よろしいですか。ほかいかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

ないようでしたら報告事項を終了いたします。そのほか何かございますか。

(なし)

ないようですので、以上をもちまして本年第1回足立

区教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。

ありがとうございました。

午後3時32分閉会

第11回足立区教育委員会

平成29年11月9日

平成 29 年 第 11 回
足立区教育委員会定例会

日 時 平成 29 年 11 月 9 日 木曜日 午後 3 時 00 分 開議
会 場 足立区教育委員会室

1 議事日程 頁

- 日程第 1 第 67 号議案 足立区こども未来創造館の指定管理者の指定の送付について 1
日程第 2 教育長報告

2 報告事項

- ① 足立区立学校支援者に対する感謝状贈呈にかかる要綱の制定について
《荒井 教育政策課長》 … 14
② 平成 29 年度体力調査結果（速報値）と投力向上の取組について
《小坂 教育指導課長》 … 15
③ 新学習指導要領の完全実施に向けた小学校「外国語活動」の授業時数確保等
に関する方針について 《森 学力定着推進課長》 … 20
④ 民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について
《田巻 子ども施設整備課長》 … 21
⑤ 足立区環境整備基準に基づく小規模保育施設の設置について
《田巻 子ども施設整備課長》 … 30

3 情報連絡事項

- ① 明海大学連携事業 第五中学校と外国人留学生の交流事業の実施について [学力定着推進課] … 36
② 平成 30・31 年度 青少年委員の推薦について [青少年課] … 37
③ 事業実施報告・実施予定 [青少年課] … 38
④ 行事実施結果・実施予定 [生涯学習振興公社] … 40

第67号議案

足立区こども未来創造館の指定管理者の指定の送付について
上記の議案を提出する。

平成29年11月9日

提出者 足立区教育委員会教育長 定野 司

足立区こども未来創造館の指定管理者の指定の送付について
足立区こども未来創造館の指定管理者を下記のとおり指定する。

記

1 施設名

足立区こども未来創造館

2 指定管理者

みらい創造堂

代表企業 ヤオキン商事株式会社 代表取締役 伊藤 治光

足立区足立四丁目28番10号

3 指定の期間

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで

(提案理由)

足立区こども未来創造館の指定管理者を指定する必要があるので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、この案を提出いたします。

第 6 7 号 議 案 説 明 資 料

平成29年11月9日

件 名	足立区こども未来創造館指定管理者の指定の送付について
所管部課名	地域のちから推進部 地域文化課
内 容	<p>足立区ギャラクシティ指定管理者選定審査会の選定審査の結果、以下の者を指定管理者候補者として選定したので、平成29年度第4回区議会定例会の議決を経て指定管理者として指定する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 対象施設 (1) 名 称 足立区こども未来創造館 (2) 所在地 足立区栗原一丁目3番1号</p> <p>2 指定の期間 平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）</p> <p>3 指定管理者の候補者 (1) 事業者名 みらい創造堂（代表者 ヤオキン商事株式会社 伊藤 治光） (2) 所在地 足立区足立四丁目28番10号</p> <p>4 応募事業者数 2事業者</p> <p>5 現在の指定管理者 あだち未来創造ネットワーク</p> <p>6 候補者となった理由・ポイント 今後ギャラクシティをどうしていきたいか、方向性がはっきりしていた。また、区民利用者増加、区民還元についてもしっかりと考えられていた。</p> <p>7 候補者となった経過 (1) 公募 平成29年7月25日～平成29年8月24日</p>

(2) 財務状況調査の結果

	事業者名	結果
代表事業者	ヤオキン商事株式会社	B 「良好である」
構成事業者	株式会社協栄	A 「非常に良好である」

(3) 選定委員会

①委員会開催状況

	開催日	内 容	審査事業者数
第1回	平成29年5月19日	選定方法や評価項目等の確認	
第2回	平成29年9月 7日	第一次選考 (書類選考)	2事業者
第3回	平成29年9月21日	第二次選考 (プレゼンテーション)	2事業者

②委員構成（計5名）

種 別	氏 名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	平澤 茂 【委員長】	文教大学名誉教授
	渡辺 千歳	東京未来大学
区民	安田 智子	
	早坂 津夜子	
区職員	吉田 厚子	報道広報室長

③審査項目及び審査結果

別紙1「ギャラクシティ指定管理者選定審査会選定結果集計表」のとおり。

(4) 労働条件審査等

選定委員会において候補となった事業者に対して、社会保険労務士2名による労働条件審査を実施し、合格となった。

8 候補者の職員平均勤続年数及び平均給与

(1) 平均勤続年数

	事業者名	平均勤続年数
代表事業者	ヤオキン商事株式会社	7. 65年
構成事業者	株式会社協栄	9. 20年

(2) 平均給与(月額)

	事業者名	平均給与
代表事業者	ヤオキン商事株式会社	管理職 300, 143円
		常勤 219, 482円
		非常勤 96, 672円
構成事業者	株式会社協栄	管理職 125, 143円
		常勤 93, 316円
		非常勤 87, 213円
		短時間労働者 973円 (時給)

9 指定管理料(見積り金額)

464, 264, 000円(税込)

10 添付資料

(1) 「ギャラクシティ指定管理者選定審査会選定結果集計表」(別紙1)

(2) 指定管理者の候補者の概要(別紙2)

(3) 事業計画及び收支計画の概要(別紙3、4)

今後の方針

平成29年第4回区議会定例会に諮る。

ギャラクシティ指定管理者選定審査会選定結果集計表

選定区分		第一次審査（平成29年9月7日開催）						第一次審査結果		
		組織の安定性		運営の安定性		事業計画の内容				
評価項目	経営の安定性	施設運営の実績	職員研修体制	見積金額の妥当性	施設計画の目的に運営方に合致した	運営に関する効果的な提案	利潤度見の反映と	区内事業者の2%のうち5%加点	推進企業へのハイパー割合ランクス	第一次審査合計
		50	50	50	50	50	50	50	17	7 <満点> 374 得点率 65.5%
配点	小計	100	100	50	50	50	50	50	17	7 <満点> 374 得点率 65.5%
(候補者)	まいりい創造堂	35	35	41	35	23	29	32	11	4 245 合
A	小計	70	76	23	29	32			5	265 70.9% 合
	小計	50	35	29	44	38	35	29	0	

ギャラクシティ指定管理者選定審査会選定結果集計表

選定区分 第二次審査(平成29年9月21日開催)

評価項目	選定区分		管理運営体制				取組方針				事業実施内容				第二次審査結果						
	小計	配点	情報発信力	トラブル対処方法と防止策	指揮命令系統と運営体制	組織運行能力	組織構成と組織体制	組織運営の反映・意見の収集・満足度の意見の収集・意見交換	推奨サービス	責任者の資質	順位										
(候補者) みらい創造堂	小計	300	100	50	50	50	50	100	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50		
A	小計	243	76	47	47	38	35	41	38	76	44	50	38	38	41	32	44	18	21	35	
			64	41	47	35	32	38	35	64	50	26	26	32	38	29	35	35	19	16	
			219						73		64		50		26		410			41	38
																	364			38	38
																				38	38

**指定管理者の候補者の概要
(足立区こども未来創造館)**

事業者名（代表）	ヤオキン商事株式会社
本社所在地	東京都足立区足立四丁目28番10号
会社設立	昭和27年11月
資本金	3,000万円
代表者	伊藤 治光
従業員数	295名
支店・営業所	自動車車検場・整備工場 マイカーセンター足立店 千住新橋ランプ前給油所 ヤオキン商事住宅設備部・ショールーム

事業者名（構成）	株式会社協栄
本社所在地	東京都中央区日本橋蛎殻町二丁目13番9号
会社設立	昭和39年5月
資本金	9,750万円
代表者	山田 賢治
事業内容	指定管理者業務、総合清掃業務、設備運転保守管理業務、警備保安業務、美術館／ミュージアム管理業務、スポーツ施設管理事業、ホールサービス事業、イベント運営事業

ギャラクシティ事業計画書概要

1 施設の運営方針

(1) 施設全体

- ① 区民とともにギャラクシティを盛り上げ、変化、成長をさせていく。
- ② ギャラクシティを科学と芸術を軸とした地域の人々の場にする。

(2) こども未来創造館

- ① 子どもたちを研究員と位置づけ、継続して遊び学べるフィールドを整える。
- ② 社会人としての基盤づくりとして、働くこと、お金について学ぶ機会を増やす。

(3) ギャラクホール

- ① 芸術と科学の融合を目指す。
- ② 子どもたちが人前で発表し、大人が知恵や技術を伝承する環境をサポートする。
- ③ NPO、大学等と連携した上質なエンターテイメントを提供

2 5年間の事業計画及び年間事業計画

(1) こども未来創造館 5カ年計画

年度	H30	H31	H32	H33	H34
テーマ	子どもがいつでも来たくなる、わくわくと出会える館	子どもも大人も一緒になって遊び、学び、成長できる館	区民の力で、イキイキした魅力を発信している館	区民一人ひとりに愛され、大切に思われる館	子どもの育成、心豊かな区民生活を実現する館

(2) ギャラクホール

年度	H30	H31	H32	H33	H34
テーマ	区民とマーケティング	チャレンジ企画	東京オリンピック運動	さらなる飛躍	安定

3 事業実施内容

(1) こども未来創造館

① 「遊び・体験」事業

- ア ロボット・プログラミング教室
- イ KAPLAブロックコーナー設置
- ウ 子どもお仕事まつり
- エ 商店街でお仕事体験
- オ 子どもクッキング地域交流
- カ プラネタリウムバッックヤード体験
- キ プラネタリアン養成講座
- ク 星空案内人（星のソムリエ）講座
- ケ ブリヂストン主催イベント（運動）
- コ 子育て家族交流ランチ
- サ 子どもお仕事体験出前プログラム
- シ 現役音大生演奏（出張）

② 「開発」事業

ア バトルブロック

イ 人材養成・登録制度のしくみづくり

　　区民に「研究員」として関わりをもってもらい、来館日数や研究成果に応じてギャラクシティでの特典を付与するしくみづくり。

③ 「ふれあい・交流」事業

ア 中高生の居場所づくり

(ア) 居場所スペースレイアウト

(イ) 運営に中高生を巻き込む。

(1) ギャラクホール

① 「区民応援型ホール」

ア 映画づくりワークショップ

イ リトミックコンサート

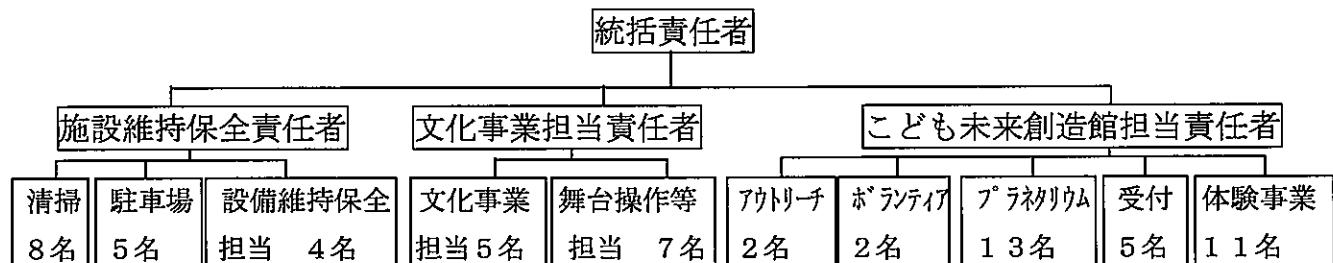
② 「エンターテイメント型ホール」

ア 押尾コーラローコンサート

イ 「おわら風の盆」招致

4 施設の運営体制

施設の一体的運営を実現するための「横断的組織体制」の確立



5 危機管理体制

不審行動の発見、異常事態発生防止について、声かけから始まるフローチャートを作成

6 接客サービス向上の方策

(1) 1階フロアに人員を配置

(2) すべてのスタッフがコンシェルジュに

(3) 館内サインの改善

(4) 高い接客品質の均一化

7 トラブル対処方法と防止策（受付時のトラブル）

(1) 対処方法

① ヒアリングによる正確な状況把握

② 代替案の提示

(2) 防止策

- ① 受付手順の統一
- ② 予備教材を確保
- ③ 事前の参加・不参加確認連絡

8 利用者意見の反映と満足度の向上の方策

- (1) 窓口、対面でのヒアリング
- (2) 施設利用報告
- (3) 利用者アンケート
- (4) 利用者の声BOX
- (5) 講座アンケート
- (6) 運営委員会(ボランティア)

9 個人情報保護対策

従業員へのマニュアル(リスクに対する予防策と対応策)配布と研修の実施

10 地域との関係づくり

「顔の見える」施設として関係性を深める。

- (1) 地域行事の紹介・参加(地域活性化)
- (2) 町会、自治会等の活動の協力と紹介
- (3) 保育園、幼稚園、小学校等との連携
- (4) 高齢者施設へアトリーチ型事業の実施
- (5) 足立区郷土芸能保存会との関係性強化

11 まるちたいけんドーム利用者数が低い平日午前中のより効果的な利用方法

No.	対象ターゲット	まるちたいけんドーム活用例
1	未就学児・保護者	テレビで親しみのあるキャラクター番組の導入
2	マタニティ・幼児	マタニティ童謡コンサート
		映像と音楽でベビーサイン、ベビーマッサージ講座
		子育て応援ヒーリングカフェ
3	高齢者	童謡サロン
		昭和歌謡サロン
		懐かしのワンコインシネマ
4	主婦層	星空映像とアロマ講座
		星空映像とリラクゼーション講座

12 情報発信

区民利用率のさらなる増加を目指す。

	H30	H31	H32	H33	H34
1 足立区広報展開の充実					
① 地域学習センターミニコミ紙との連携	●	→			
② シアター1010との広報連携	●	→			
③ 区内商業施設との広報・イベント連携	●	→			

	H30	H31	H32	H33	H34
2 SNS 強化 LINE/YouTube による情報発信の充実	●				→
3 マーケティングによる効果的・効率的メディアの選定等		●	→		
4 区民参加型広報企画実施・拡大		●	→		
5 ギャラク PR サポーター導入 (キッズレポーター育成)			●	→	

13 提案事業

- (1) I Tを駆使した区民優先事前予約システムの構築
- (2) 西新井駅からギャラクシティまでの道のりをデザイン
- (3) 施設を最大限活用した区民サービスづくり

こども未来創造館の管理に係る収支計画書（平成30年度）

(単位：千円)

収支区分		内訳	金額	備考	
収入合計 (A)			393,122		
項 目	管理委託料	管理運営費	386,882		
	その他の収入	事業収入	6,240		
支出合計 (B)			393,122		
項 目	人件費	統括責任者	7,200	207,600	
		副責任者	6,000		
		こども体験事業責任者	4,800		
		総合受付案内責任者	4,800		
		マルチ体験ドーム責任者	4,800		
		正規職員(30名)	109,200		
		臨時職員	50,400		
		施設維持保全責任者	6,000		
目	事務費	施設維持保全職員	14,400		
		事業費	76,480	112,044	
		広告費	16,440		
		その他経費	19,124		
		施設管理経費		73,478	
管理維持費					
収支(A)-(B)			0		

西新井文化ホールの管理に係る収支計画書（平成30年度）

(単位：千円)

収支区分		内 訳	金 額	備 考
収入合計 (A)			92,082	
項 目	管理委託料	管理委託料	77,382	
	その他の収入	事業収入	14,700	
支出合計 (B)			92,082	
項 目	人件費	副責任者 正規職員（5名） 舞台操作責任者 正規職員（6名）	6,000 20,400 4,800 21,600	52,800
		事業費 広告費 その他経費	23,400 6,540 7,912	37,852
	事務費	施設管理経費	1,430	
収支(A) - (B)			0	

教 育 委 員 会 報 告

平成29年11月9日

件 名	足立区立学校支援者に対する感謝状贈呈にかかる要綱の制定について
所管部課名	学校教育部 教育政策課
内 容	<p>1 趣旨 日頃、子どもたちのために活動している地域の方に対する感謝の意を表すため、個人を対象とした感謝状贈呈にかかる要綱を制定する。</p> <p>※現状の感謝状 区：開かれた学校づくり協議会会長の退任感謝状 都：学校活動支援団体への感謝状</p> <p>2 対象者 子どもたちのために学校の支援をしている地域の方で、次の（1）～（3）の条件をすべて満たす方。</p> <p>（1）以下のいずれかの活動を実施していること。 ア　学校教育支援活動 学校内で行われている学習ボランティア、授業サポート等 イ　学校環境整備活動 学校内または学校周辺の清掃活動、学校内の花壇の整備等 ウ　学校安全支援活動 登下校時の見守り、校門でのあいさつ運動等</p> <p>（2）活動を継続的に実施している期間が、5年間以上であること。 （ア、イ、ウの活動期間を合算して算定することが可能。ただし、重複期間をダブルカウントすることは不可）</p> <p>（3）活動頻度が月1回または年10回以上であること。（ア、イ、ウの活動頻度を合算して算定することが可能）</p> <p>3 選定方法 毎年、各小中学校に感謝状対象者の募集をする。 校長及び開かれた学校づくり協議会会長が感謝状対象者を推薦する。教育長、学校教育部長、教育政策課長による審査会にて、贈呈対象者を決定する。</p> <p>4 贈呈方法 每年1回、開かれた学校づくり協議会にて贈呈する。</p>
今後の方針	11月21日（火）の校長会にて報告した後、学校宛てに推薦を依頼する。1月に審査会を行い、2月以降の開かれた学校づくり協議会にて贈呈する。

教 育 委 員 会 報 告

平成29年11月9日

件 名	平成29年度体力調査結果（速報値）と投力向上の取組について				
所管部課名	学校教育部 教育指導課				
内 容	<p>1 平成29年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」について</p> <p>本区における結果（速報値）がまとまったので下記のとおり報告する。</p> <p>(1) 調査対象及び実施期間 全児童・生徒 平成29年4月から6月まで</p> <p>(2) 調査方式（全8種目） ①握力(筋力) ②上体起こし(筋力・筋持久力) ③長座体前屈(柔軟性) ④反復横とび(敏捷性) ⑤20mシャトルラン・持久走(全身持久力) ⑥50m走(スピード) ⑦立ち幅跳び(瞬発力) ⑧ハンドボール(中学校)・ソフトボール(小学校) 投げ(巧緻性・瞬発力)</p> <p>(3) 調査結果 体力・運動能力について【速報値より】（資料1）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">小学校</td> <td>学年・男女別、種目別の96項目 東京都の平均値を上回った項目 26項目（昨年度21項目） 昨年度の当区の平均値を上回った項目 63項目（昨年度40項目）</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>学年・男女別、種目別の54項目 東京都の平均値を上回った項目 2項目（昨年度6項目） 昨年度の当区の平均値を上回った項目 37項目（昨年度31項目）</td> </tr> </table> <p>2 投力向上の取組について（資料2 資料3 資料4）</p> <p>体育授業、体育授業以外の時間、放課後子ども教室等との連携を通して、日頃の運動習慣及び体育授業を工夫改善することで投げる動きを習得する取組を推進し、児童生徒の体力の向上を図る。</p> <p>モデル校において、12月から1月に2回目の投力調査を実施し、取組内容の報告資料を作成する。モデル校の報告資料を参考に、30年度は全小中学校で、投力向上に向けた取組を実施する。</p> <p>体力向上推進モデル校</p> <p>(1) 小学校：千寿常東小 高野小 宮城小 中島根小 東綾瀬小 10校 東加平小 東渕江小 花畠小 花畠第一小 竹の塚小</p> <p>(2) 中学校：千寿桜堤中 第七中 第九中 江南中 蒲原中 入谷中 6校</p>	小学校	学年・男女別、種目別の96項目 東京都の平均値を上回った項目 26項目（昨年度21項目） 昨年度の当区の平均値を上回った項目 63項目（昨年度40項目）	中学校	学年・男女別、種目別の54項目 東京都の平均値を上回った項目 2項目（昨年度6項目） 昨年度の当区の平均値を上回った項目 37項目（昨年度31項目）
小学校	学年・男女別、種目別の96項目 東京都の平均値を上回った項目 26項目（昨年度21項目） 昨年度の当区の平均値を上回った項目 63項目（昨年度40項目）				
中学校	学年・男女別、種目別の54項目 東京都の平均値を上回った項目 2項目（昨年度6項目） 昨年度の当区の平均値を上回った項目 37項目（昨年度31項目）				

平成29年度 体力調査結果【速報値】

東京都との平均値との比較(○ 上回っている □ 小数第1位まで同数 ▼ 下回っている)

<小学校>

【平成29年度】都平均以上は96項目中、**26項目**

	小学校														
	男子						女子								
握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール
1年	▼	○	▼	○	○	○	□	▼	○	▼	○	○	□	○	○
2年	▼	○	▼	○	○	▼	○	▼	▼	▼	○	○	□	○	□
3年	▼	▼	▼	○	▼	□	▼	▼	○	□	▼	○	○	▼	▼
4年	▼	▼	▼	○	▼	□	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	□	▼
5年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	□	▼	▼	○	○	□	▼	▼
6年	▼	▼	▼	□	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

○ 26/96 □ 11/96 ▼ 59/96

【平成28年度】都平均以上は96項目中、**21項目**

	小学校														
	男子						女子								
握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール
1年	▼	○	▼	▼	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	○	▼	○
2年	▼	▼	▼	○	▼	○	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	▼
3年	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	○	○	▼	▼	○
4年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
5年	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼
6年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼

<中学校>

【平成29年度】都平均以上は54項目中、**2項目**

	中学校																
	男子						女子										
握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走
1年	▼	□	▼	▼	▼	□	▼	▼	▼	○	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼
2年	□	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	□	□	▼	▼	▼	□	▼	▼	▼
3年	▼	▼	▼	▼	▼	□	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

○ 2/54 □ 7/54 ▼ 45/54

【平成28年度】都平均以上は54項目中、**6項目**

	中学校																
	男子						女子										
握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール	持久走
1年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	▼
2年	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
3年	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

体力向上推進モデル校
投力向上に向けた取組

小学校		A校	B校	C校	D校	E校	F校	G校	H校	I校	J校
I 体育授業	1 準備運動（各単元）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2 準備運動（特定単元）		●	●	●	●	●	○	○	●	●
II 体育以外	3 授業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	4 整理運動（各単元）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
III 運勢	5 整理運動（特定単元）										
	6 朝の時間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I 体育授業	7 集会、朝会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	8 中休み、星休み	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
II 体育以外	9 放課後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	10 その他										
III 運勢	11 学童保育										
	12 放課後子ども教室	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
体力調査区順位（男子/女子）		59/56	52/57	18/28	68/69	14/10	12/40	3/5	29/27	7/18	54/43
投力平均値 足立区（男子16.0/女子10.0） 東京都（男子16.5/女子10.1）		16.4/ <u>9.9</u>	14.9/ <u>9.2</u>	17.0/10.1	16.9/ <u>9.8</u>	15.7/10.0	17.4/10.4	17.8/10.1	15.3/9.7	16.8/10.0	14.9/ <u>9.5</u>
2回目（12月～1月）の調査結果 伸び率【男子 % /女子 %】		[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]

中学校		K校	L校	M校	N校	O校	P校
I 体育授業	1 準備運動（各単元）	●	●	●	●	●	●
	2 準備運動（特定単元）	○	●	○	●	●	●
II 体育以外	3 授業	○	●	○	●	○	●
	4 整理運動（各単元）						
III 運勢	5 整理運動（特定単元）						
	6 朝の時間						
I 体育授業	7 集会、朝会						
	8 放課後						
II 体育以外	9 新活動						
	10 その他						
III 運勢	11						
	体力調査区順位（男子/女子）	33/24	17/30	7/14	22/20	1/3	4/4
投力平均値 足立区（男子19.1/女子11.6） 東京都（男子20.2/女子12.3）		20.5/11.4	19.2/11.2	19.8/11.8	21.1/12.1	20.0/12.4	
2回目（12月～1月）の調査結果 伸び率【男子 % /女子 %】		[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]	[%/ %]

は、各学校の重点項目

○はモデル校に指定される前に学校独自に取り組んでいた内容

●はモデル校に指定されてから、追加して取り組むことになった内容

投力平均値について。アンダーラインは、都の平均値を下回っているもの

平成29年11月9日
教育指導課

主な取組内容【小学校】（今後実施予定のものも含む）

項目		主な内容	
I 体育授業	準備運動（各単元）	コーディネーション運動を取り入れ、腕を回す動きを準備運動で行う。	
		準備運動で肩関節の柔軟性を高める運動を行う。	
	準備運動（特定単元）	ベースボール型の授業を行うときの準備運動で、リングビー、またボロハヴィックによるキャッチボールを行う。	
		ボールを使った授業の準備運動で、タオルを使って肘を高くする動きを取り入れる。	
	授業	体つくり運動、ボール運動、球技等の授業を実施する。	
II 体育以外	中休み 昼休み	整理運動（各単元）	整理運動で、肩をほぐす体操を行う。
		朝の時間	防球ネットに的を設置し、朝の時間で実施する。
			屋上に細いロープにバトンを通した（バトンスロー）場をつくり、休み時間にバトンを投げて遊べるようにする。
			体育委員会での当てゲームを作成し、ステージ1からレベルアップしてステージ3までの場を用意する。
			週1日、2～6年生までがボールを投げて遊べる時間を設定する。
			週2回（火、木）休み時間を10分延長し、最初の5分間、肩のストレッチを行う。
III 連携	放課後 子ども教室		休み時間にドッジボール、バトンスローで遊べるようにする。
			放課後子ども教室と連携し、バトンスロー、すずらんテープを付けたボール（たまねぎボール）投げ、紙鉄砲遊びなど投力向上に向けた運動や遊びを取り入れていく。

平成29年11月9日
教育指導課

主な取組内容【中学校】（今後実施予定のものも含む）

項目		主な内容
I	体育授業	準備運動 (各単元) 中に砂の入ったゴムボール(サンドボール(500g))を使って、左右の握り替えによる握力強化。(手の甲は上に) サンドボール(500g)を地面にたたきつける。(たたきつける際、肘が下がらないように)
		準備運動 (特定単元) 球技の学習の準備運動で、上投げでキャッチボール、床にたたきつけてキャッチボールやスパイクとレシーブの対人練習などを行う。
		球技の学習の準備運動で、ストレッチ等を取り入れて学校独自に作成した、KABARAスタンダード(ファンクショナルトレーニング)を行う。
		授業 体つくり運動、球技等の授業を実施する。
II	体育以外	朝の時間 週1回朝の時間にハンドボールを使ったキャッチボールを行う。
		中休み 昼休みに記録会を実施する。(7月 投力 今後 握力)
		昼休み等において、アメリカンフットボールのようなボール(スカッドボーグ等)を使った外遊びを行う。現在、活動場所や各学年が実施できる曜日、時間等を調整中。
	放課後	放課後補充教室の時間帯を利用し、全部活動に参加する生徒を対象としたトレーニング。主にハンドボールを使ったキャッチボールを行う。

教 育 委 員 会 報 告

平成29年11月9日

件 名	新学習指導要領の完全実施に向けた小学校「外国語活動」の授業時数確保等に関する方針について																														
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課																														
	<p>新「学習指導要領」は平成32年には完全実施となり、小学校中学年(=3.4年)は年間35時間の外国語活動を、高学年(=5.6年)では外国語科として年間70時間を実施することとなる。</p> <p>については、国の移行措置を踏まえ、足立区における授業時数の確保等について方針を定め、段階的かつ円滑な移行を実現させていく。</p>																														
1 平成32年度までの各学年の授業時数について																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">年度</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">第3学年</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">第4学年</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">第5学年</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">第6学年</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">中学1年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">平成29年度</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">20</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">20</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">140</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">平成30年度</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">50(～70)</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">50(～70)</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">140</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">平成31年度</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">70</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">70</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">140</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">平成32年度</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">35</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">70</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">70</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">140</td></tr> </tbody> </table>		年度	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	中学1年	平成29年度	20	20	35	35	140	平成30年度	35	35	50(～70)	50(～70)	140	平成31年度	35	35	70	70	140	平成32年度	35	35	70	70	140
年度	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	中学1年																										
平成29年度	20	20	35	35	140																										
平成30年度	35	35	50(～70)	50(～70)	140																										
平成31年度	35	35	70	70	140																										
平成32年度	35	35	70	70	140																										
内 容																															
<p>(1) 時数について</p> <p>① 平成30年度は、中学年は35時間の外国語活動、高学年は50時間以上の外国語科を行う。</p> <p>② 平成31年度は、中学年は35時間の外国語活動、高学年は70時間の外国語科を行う。</p> <p>(2) 時数確保について</p> <p>授業時数増加分については、各学校が教育課程編成における工夫により確保する。その際、国の移行措置を踏まえ、15時間を越えない範囲で「総合的な学習の時間」から確保してもよいこととする。(小中一貫校は除く)</p> <p>(3) 移行期間中の教材について</p> <p>教材は国が示す新教材を活用し、指定された単元を扱う。</p> <p>(4) 移行期間中の評価について</p> <p>現行学習指導要領による外国語活動の目標及び評価規準に照らして、文章表現により評価する。</p> <p>(5) 授業支援について</p> <p>授業時数の増加に対して、外国語活動スーパーバイザー・アドバイザーを計画的に増員し、現在の授業支援率を確保する。</p>																															
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に教育課程説明会で方針周知。 ・教員の英語指導力及び英語力の向上を図るため、研修体系を見直すとともに、外国語活動アドバイザーによる授業支援の充実を図る。 ・平成32年度以降の授業時数確保の工夫を校長会と研究していく。 																														

教 育 委 員 会 報 告

平成29年11月9日

件 名	民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について														
所管部課名	待機児対策室 子ども施設整備課														
内 容	<p>待機児童解消アクション・プランに基づき、認可保育所を自ら整備して平成31年4月1日に開設、運営する事業者について、足立区子ども施設指定管理者選定等審査会の答申を受けて以下のとおり選定したので報告する。</p> <p>1 審査会開催日及び審査件数 (1) 審査会開催日 平成29年10月13日（金） (2) 審査件数 ①加平・谷中地域 2事業者 ②綾瀬駅北側地域 1事業者</p> <p>2 運営予定事業者 (1) 加平・谷中地域 ①名 称 社会福祉法人三樹会 ②所 在 地 埼玉県さいたま市南区鹿手袋四丁目17番22号 ③運営施設 認可保育所12園（竹の塚北保育園、外11園） 東京都認証保育所1園（保育園ミルキーウェイ竹の塚） ④施設計画 ・予定地 加平一丁目7番7号 ・定 員 120名予定（0～5歳児）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>0歳</th><th>1歳</th><th>2歳</th><th>3歳</th><th>4歳</th><th>5歳</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td><td>18</td><td>18</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>120</td></tr> </tbody> </table> <p>・案内図</p> <p>⑤選定理由等 2事業者の中で最も高い8割を超える得点を獲得した。特に園長予定者の適性、実地調査及び経営の安定性の評価は高く、異議な</p>	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	6	18	18	26	26	26	120
0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計									
6	18	18	26	26	26	120									

く選定された。

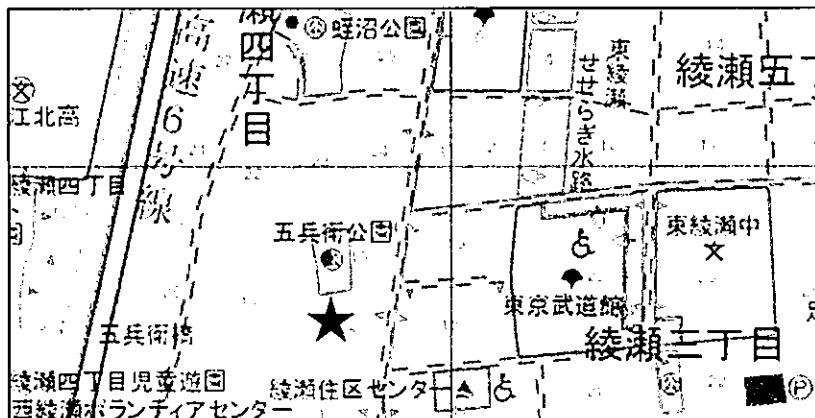
※審査結果の詳細は別紙1-1「参考資料」、1-2「審査結果表」のとおり

(2) 綾瀬駅北側地域

- ①名 称 株式会社Kids Smile Project
②所在 地 港区麻布十番一丁目7番1号
③運営施設 認可保育園14園(キッズガーデン文京春日、外13園)
小規模保育施設3園(キッズガーデン馬込駅前、外2園)
④施設計画
・予定地 綾瀬四丁目17番4号
・定 員 71名予定(0~5歳児)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
6	10	10	15	15	15	71

・案内図



⑤選定理由等

基準となる総合評価点数の6割を超える7割2分近くの点を獲得した。特に行政からの指導に対する法人の姿勢、実地調査及び経営の安定性の評価は高く、異議なく選定された。

※審査結果の詳細は別紙2-1「参考資料」、2-2「審査結果表」のとおり

今後の方針

議会報告後、地元の町会・自治会長と事業者を引き合わせ、地元の要望に合せて役員会での説明や住民説明会等を開催する。

平成 29 年 11 月 9 日
待機児対策室子ども施設整備課

「民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について」
参考資料（社会福祉法人三樹会）

1 施設の概要

(1) 所在地

足立区加平一丁目 7 番 7 号

(2) 施設規模等

- ①構 造 鉄骨造 2 階建て
- ②延床面積 1,314.77 平方メートル

2 運営予定事業者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人三樹会（理事長 細野 智樹）
主たる事務所の所在地	埼玉県さいたま市南区鹿手袋四丁目 17 番 22 号
設立年月日	平成 17 年 3 月 3 日
資本金	—
事業概要	1 保育所、放課後児童健全育成事業の経営 2 一時預かり事業 3 地域子育て支援拠点事業
役員	理事長 細野 智樹 理 事 細野 恵子、井原 英子、一場 美和、笹原 洋子、 相川 利恵 監 事 北村 喜久則、室木 洋子
足立区内での運営実績	認可保育所 1 園（竹の塚北保育園 ※指定管理） 東京都認証保育所 1 園（保育園ミルキーウェイ竹の塚）

3 保育所運営方針及び収支計画の概要

(1) 保育所運営方針の概要

◆保育理念

子育てしている人たちが安心して園に集まり、地域も元気に楽しくなるような園を目指します。

◆保育方針

- ・自分を大切にできる子ども
- ・やさしくて強い心を持つ子ども
- ・自分から考えて行動できる子ども

教育委員会資料

- ・地球を慈しむ心を持つ子ども
- ・心と頭と身体のバランスがとれている子ども
- ・やり遂げる気持ちを大事にできる子ども

◆保育目標

- ①やさしく思いやりのある子、②考える子、③元気いっぱい遊べる子、の三原則を柱として
- ・保護者が安心して預けることのできる保育園
 - ・子どもが喜んで登園する保育園
 - ・保育者が楽しんで保育することのできる保育園
- を目指します。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
収入	補助金等	145,700,372	161,696,364	176,038,832	176,033,832	176,031,332
	計	145,700,372	161,696,364	176,038,832	176,033,832	176,031,332
支出	人件費	104,974,840	105,746,840	106,336,840	107,108,840	107,881,840
	管理費	20,964,600	20,964,600	20,964,600	20,964,600	20,964,600
	事業費	38,196,328	33,368,328	37,820,328	37,810,328	37,805,328
	計	164,135,768	160,079,768	165,121,768	165,883,768	166,651,768
差引き		-18,435,396	1,616,596	10,917,064	10,150,064	9,379,564
返済（償還）予定		0	320,000	2,760,000	2,760,000	2,760,000

民設民営による認可保育所整備・運営予定事業者 審査結果表

別紙1-2

【加平・谷中地域】

平成29年10月13日
法人名:社会福祉法人三樹会

評価項目	配点	得点	割合
1 開設準備の実効性(開設保育所について)	3,600	2,816	78.2%
(1)園舎配置が適切である。(駐輪・駐車スペースの確保など)	720	662	91.9%
(2)保育室等の配置が適切である。(保育室にゆとりがある、子どもの導線など)	720	662	91.9%
(3)保育所の基準を正しく理解した園舎設計となっている。(事務室、医務室、調理室等の配置など)	720	662	91.9%
(4)避難経路が安全に確保されている。(2か所2方向以上に避難経路があるなど)	720	520	72.2%
(5)開設スケジュールが適切である。(工事入札や行政検査が考慮されている)	720	310	43.1%
2 保育所運営能力 提案内容	8,400	6,528	77.7%
(1)保育所運営方針や保育理念が的確である、年間計画が適切である。法人本部が運営施設を適切にサポートする体制が整っている。	600	460	76.7%
(2)保育課程について、年齢ごとに適切な計画が提案されている。食育計画、保健計画、年間指導計画のねらいや内容が適切である。	600	543	90.5%
(3)足立区教育・保育の質ガイドラインをふまえ、教育・保育の質向上のための取組みが提案されている。	600	435	72.5%
(4)地域及び保護者との連携の下、円滑に園運営を行うための工夫がなされている。家庭への情報発信、保護者との連携方法が適切である。	600	470	78.3%
(5)特別保育事業について、留意点や特色が示され、料金設定が適切である。募集要項で求めた以上の特別保育事業の提案がある。	600	445	74.2%
(6)利用者とのトラブルについての未然防止策と対処法が的確である。意見・要望等を集め、保育園運営に反映させる工夫がなされている。	600	445	74.2%
(7)職員採用計画が具体的かつ確実性のあるものである。職員の配置計画が適切であることに加えて、職員の待遇改善に向けての取り組みがなされている。	600	435	72.5%
(8)新人研修や人材育成研修による保育士の資質向上のための研修が、計画的かつ適切である。職員の健康管理について、健康診断や検便、福利厚生など、適切な計画がなされている。	600	435	72.5%
(9)園児の安全管理に関するマニュアルが適切に整備され、実践に活かされている。	600	460	76.7%
(10)避難訓練、不審者訓練、消防訓練等、事故を未然に防ぐ工夫がある。	600	480	80.0%
(11)個人情報の具体的な取扱いルールが的確である。保護者に対して個人情報の利用目的を的確に周知している。職員への個人情報の取扱いに関する教育が適切である。	600	490	81.7%
(12)医療機関と連携した園児の健康管理が行われている。乳幼児突然死症候群(SIDS)に対する対策が適切に行われている。	600	465	77.5%
(13)衛生管理マニュアルが整備され、実践に活かされている。	600	470	78.3%
(14)給食には季節感を取り入れ、食育に対する明確な考え方が示されている。アレルギー対応マニュアルが整備され、医療機関と連携した対応が考えられている。	600	495	82.5%
3 行政からの指導に対する法人の姿勢	600	450	75.0%
(1)指導検査の指摘事項に対し、適切な改善策を講じている。 (指摘がない場合は、指摘される前に適切な対策を講じているとみなす。) (指導検査をまだ受けていない場合は基準点とする。)	600	450	75.0%
4 園長予定者の適性	1,800	1,445	80.3%
(1)保護者からの相談や苦情内容の論点整理をし、的確かつ誠実に対応できる。	600	480	80.0%
(2)園運営に対する熱意と意欲があり、倫理観に裏付けられた人間性や専門知識をもって職員指導ができる。	600	480	80.0%
(3)災害、事故、疾病等に適切な対応ができる危機管理能力がある。	600	485	80.8%
5 実地調査	1,800	1,644	91.3%
提案内容との整合性の調査として、(1)保育環境、(2)衛生管理、(3)安全管理、(4)保育内容、(5)個人情報保証の5項目を、日々の保育の記録やチェックの様子の調査として、保育事務書類の確認を行った。	1,800	1,644	91.3%
6 経営の安定性【税理士による財務診断結果を参考】	1,800	1,630	90.6%
(1)安定性	600	580	96.7%
(2)収益性	600	580	96.7%
(3)効率性	600	470	78.3%
小計	18,000	14,513	80.6%
7 加点項目		0	
(1)区内事業者加点	0%	0	—
(2)ワークライフバランス推進企業に認定	0%	0	—
最終得点	14,513	80.6%	
得点割合	80.6%		

民設民営による認可保育所整備・運営予定事業者 審査結果表

別紙1-2

【加平・谷中地域】

平成29年10月13日

法人名:事業者A

評価項目	配点	得点	割合
1 開設準備の実効性(開設保育所について)	3,600	2,474	68.7%
(1)園舎配置が適切である。(駐輪・駐車スペースの確保など)	720	516	71.7%
(2)保育室等の配置が適切である。(保育室にゆとりがある、子どもの導線など)	720	626	86.9%
(3)保育所の基準を正しく理解した園舎設計となっている。(事務室、医務室、調理室等の配置など)	720	516	71.7%
(4)避難経路が安全に確保されている。(2か所2方向以上に避難経路があるなど)	720	496	68.9%
(5)開設スケジュールが適切である。(工事入札や行政検査が考慮されている)	720	320	44.4%
2 保育所運営能力、提案内容	8,400	5,388	64.1%
(1)保育所運営方針や保育理念が的確である、年間計画が適切である。法人本部が運営施設を適切にサポートする体制が整っている。	600	410	68.3%
(2)保育課程について、年齢ごとに適切な計画が提案されている。食育計画、保健計画、年間指導計画のねらいや内容が適切である。	600	353	58.8%
(3)足立区教育・保育の質ガイドラインをふまえ、教育・保育の質向上のための取組みが提案されている。	600	360	60.0%
(4)地域及び保護者との連携の下、円滑に園運営を行うための工夫がなされている。家庭への情報発信、保護者との連携方法が適切である。	600	365	60.8%
(5)特別保育事業について、留意点や特色が示され、料金設定が適切である。募集要項で求めた以上の特別保育事業の提案がある。	600	370	61.7%
(6)利用者とのトラブルについての未然防止策と対処法が的確である。意見・要望等を集め、保育園運営に反映させる工夫がなされている。	600	375	62.5%
(7)職員採用計画が具体的かつ確実性のあるものである。職員の配置計画が適切であることに加えて、職員の待遇改善に向けての取り組みがなされている。	600	355	59.2%
(8)新人研修や人材育成研修による保育士の資質向上のための研修が、計画的かつ適切である。職員の健康管理について、健康診断や検便、福利厚生など、適切な計画がなされている。	600	387	64.5%
(9)園児の安全管理に関するマニュアルが適切に整備され、実践に活かされている。	600	410	68.3%
(10)避難訓練、不審者訓練、消防訓練等、事故を未然に防ぐ工夫がある。	600	390	65.0%
(11)個人情報の具体的な取扱いルールが的確である。保護者に対して個人情報の利用目的を的確に周知している。職員への個人情報の取扱いに関する教育が適切である。	600	421	70.2%
(12)医療機関と連携した園児の健康管理が行われている。乳幼児突然死症候群(SIDS)に対する対策が適切に行われている。	600	405	67.5%
(13)衛生管理マニュアルが整備され、実践に活かされている。	600	377	62.8%
(14)給食には季節感を取り入れ、食育に対する明確な考え方が示されている。アレルギー対応マニュアルが整備され、医療機関と連携した対応が考えられている。	600	410	68.3%
3 行政からの指導に対する法人の姿勢	600	340	56.7%
(1)指導検査の指摘事項に対し、適切な改善策を講じている。 (指摘がない場合は、指摘される前に適切な対策を講じているとみなす。) (指導検査をまだ受けていない場合は基準点とする。)	600	340	56.7%
4 園長予定者の適性	1,800	1,270	70.6%
(1)保護者からの相談や苦情内容の論点整理をし、的確かつ誠実に対応できる。	600	420	70.0%
(2)園運営に対する熱意と意欲があり、倫理観に裏付けられた人間性や専門知識をもって職員指導ができる。	600	430	71.7%
(3)災害、事故、疾病等に適切な対応ができる危機管理能力がある。	600	420	70.0%
5 実地調査	1,800	1,299	72.2%
提案内容との整合性の調査として、(1)保育環境、(2)衛生管理、(3)安全管理、(4)保育内容、(5)個人情報保証の5項目を、日々の保育の記録やチェックの様子の調査として、保育事務書類の確認を行った。	1,800	1,299	72.2%
6 経営の安定性【税理士による財務診断結果を参考】	1,800	1,280	71.1%
(1)安定性	600	470	78.3%
(2)収益性	600	360	60.0%
(3)効率性	600	450	75.0%
小計	18,000	12,051	67.0%
7 加点項目		0	
(1)区内事業者加点	0%	0	—
(2)ワークライフバランス推進企業に認定	0%	0	—
最終得点	12,051	67.0%	
得点割合	67.0%		

平成29年11月9日
待機児対策室子ども施設整備課

「民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について」

参考資料（株式会社Kids Smile Project）

1 施設の概要

(1) 所在地

足立区綾瀬四丁目17番4号

(2) 施設規模等

- ①構造 鉄筋コンクリート造5階建ての1階部分
- ②延床面積 364.20平方メートル

2 運営予定事業者の概要

団体名（代表者名）	株式会社Kids Smile Project（代表取締役 中西 正文）
主たる事務所の所在地	港区麻布十番一丁目7番1号
設立年月日	平成20年12月12日
資本金	2,700万円
事業概要	1 託児所、保育所その他保育施設の運営 2 幼児教育・児童教育に関する商品開発、企画及び学習教室の経営 3 労働者派遣法に基づく、ベビーシッターその他保育従事者の派遣事業 など
役員	代表取締役 中西 正文 取締役 中西 亜由美、三上 剛 監査役 山本 慎一郎
足立区内での運営実績	無

3 保育所運営方針及び収支計画の概要

(1) 保育所運営方針の概要

◆保育理念「みんなが輝く社会のために」

保育園は「子どものために」「保護者のために」「地域のために」存在します。保護者が子どもを授かった喜びや共に生きる幸せを感じることのできる子育て支援を行います。

- ・すべての子どもが安心し、安全に育まれるよう、一人ひとりを理解、尊重し、その子どもが持っている力を育むよう日々の保育を行います。
- ・児童福祉法、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準、保育指針、保育目標に基づ

いた、より良い保育園運営を行います。

- ・安心、安全に保育ができるよう人材育成及び環境整備に努めます。
- ・保育園は、すべての子どもの最善の利益を第一にし、プロとしての適切な支援を行います。
- ・園長は、保護者と心を通わせながら、子どもの発達を的確にとらえ、その育ちを保証します。また、職員間の円滑なコミュニケーションを図り、透明性のある保育を行うよう努めます。
- ・豊かな自然の中で、遊び、学び、関わりあい、生きる喜びを感じながら、豊かな人間性を育む保育を行います。
- ・子育てしているすべての家庭が気軽に立ち寄り、相談できる保育園を目指します。

◆保育目標

- ・健康な子ども
- ・仲間を大切にする子ども
- ・創ることに喜びを感じられる子ども
- ・自分で考えて行動する子ども
- ・身近なものに愛情をもって接する子ども

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
収入	補助金等	98,941,000	104,297,000	114,978,000	114,978,000	114,978,000
	計	98,941,000	104,297,000	114,978,000	114,978,000	114,978,000
支出	人件費	55,834,000	56,381,000	56,933,000	57,490,000	58,053,000
	管理費	12,480,000	12,480,000	12,480,000	12,480,000	12,480,000
	事業費	20,090,000	20,697,000	22,232,000	22,232,000	22,232,000
	計	88,404,000	89,558,000	91,645,000	92,202,000	92,765,000
差引き		10,537,000	14,739,000	23,333,000	22,776,000	22,213,000
返済（償還）予定		10,000,000	10,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000

民設民営による認可保育所整備・運営予定事業者 審査結果表

別紙 2-2

【綾瀬駅北側地域】

平成29年10月13日

法人名:Kids Smile Project

評価項目	配点	得点	割合	
1 開設準備の実効性(開設保育所について)	3,800	2,490	69.2%	
(1)園舎配置が適切である。(駐輪・駐車スペースの確保など)	720	488	67.8%	
(2)保育室等の配置が適切である。(保育室にゆとりがある、子どもの導線など)	720	336	46.7%	
(3)保育所の基準を正しく理解した園舎設計となっている。(事務室、医務室、調理室等の配置など)	720	342	47.5%	
(4)避難経路が安全に確保されている。(2か所2方向以上に避難経路があるなど)	720	662	91.9%	
(5)開設スケジュールが適切である。(工事入札や行政検査が考慮されている)	720	662	91.9%	
2 保育所運営能力(提案内容)	18,400	5,930	70.6%	
(1)保育所運営方針や保育理念が的確である、年間計画が適切である。法人本部が運営施設を適切にサポートする体制が整っている。	600	430	71.7%	
(2)保育課程について、年齢ごとに適切な計画が提案されている。食育計画、保健計画、年間指導計画のねらいや内容が適切である。	600	450	75.0%	
(3)足立区教育・保育の質ガイドラインをふまえ、教育・保育の質向上のための取組みが提案されている。	600	390	65.0%	
(4)地域及び保護者との連携の下、円滑に園運営を行うための工夫がなされている。家庭への情報発信、保護者との連携方法が適切である。	600	400	66.7%	
(5)特別保育事業について、留意点や特色が示され、料金設定が適切である。募集要項で求めた以上の特別保育事業の提案がある。	600	430	71.7%	
(6)利用者とのトラブルについての未然防止策と対処法が的確である。意見・要望等を集め、保育園運営に反映させる工夫がなされている。	600	440	73.3%	
(7)職員採用計画が具体的かつ確実性のあるものである。職員の配置計画が適切であることに加えて、職員の待遇改善に向けての取り組みがなされている。	600	405	67.5%	
(8)新人研修や人材育成研修による保育士の資質向上のための研修が、計画的かつ適切である。職員の健康管理について、健康診断や検便、福利厚生など、適切な計画がなされている。	600	420	70.0%	
(9)園児の安全管理に関するマニュアルが適切に整備され、実践に活かされている。	600	420	70.0%	
(10)避難訓練、不審者訓練、消防訓練等、事故を未然に防ぐ工夫がある。	600	420	70.0%	
(11)個人情報の具体的な取扱いルールが的確である。保護者に対して個人情報の利用目的を的確に周知している。職員への個人情報の取扱いに関する教育が適切である。	600	430	71.7%	
(12)医療機関と連携した園児の健康管理が行われている。乳幼児突然死症候群(SIDS)に対する対策が適切に行われている。	600	435	72.5%	
(13)衛生管理マニュアルが整備され、実践に活かされている。	600	390	65.0%	
(14)給食には季節感を取り入れ、食育に対する明確な考え方が示されている。アレルギー対応マニュアルが整備され、医療機関と連携した対応が考えられている。	600	470	78.3%	
3 行政からの指導に対する法人の姿勢	600	510	85.0%	
(1)指導検査の指摘事項に対し、適切な改善策を講じている。 (指摘がない場合は、指摘される前に適切な対策を講じているとみなす。) (指導検査をまだ受けていない場合は基準点とする。)	600	510	85.0%	
4 園長予定者の適性	1,800	1,130	62.8%	
(1)保護者からの相談や苦情内容の論点整理をし、的確かつ誠実に対応できる。	600	390	65.0%	
(2)園運営に対する熱意と意欲があり、倫理観に裏付けられた人間性や専門知識をもって職員指導ができる。	600	380	63.3%	
(3)災害、事故、疾病等に適切な対応ができる危機管理能力がある。	600	360	60.0%	
5 実地調査	1,800	1,524	84.7%	
提案内容との整合性の調査として、(1)保育環境、(2)衛生管理、(3)安全管理、(4)保育内容、(5)個人情報保証の5項目を、日々の保育の記録やチェックの様子の調査として、保育事務書類の確認を行った。	1,800	1,524	84.7%	
6 経営の安定性【税理士による財務診断結果を参考】	1,800	1,520	84.4%	
(1)安定性	600	470	78.3%	
(2)収益性	600	470	78.3%	
(3)効率性	600	580	96.7%	
	小計	18,000	13,104	72.8%
7 加点項目		0		
(1)区内事業者加点	0%	0	—	
(2)ワークライフバランス推進企業に認定	0%	0	—	
	最終得点	13,104	72.8%	
	得点割合	72.8%	△	

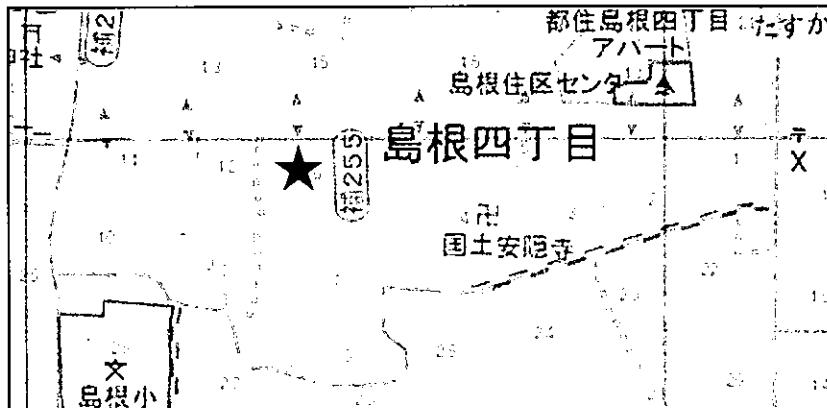
教 育 委 員 会 報 告

平成29年11月9日

件 名	足立区環境整備基準に基づく小規模保育施設の設置について
所管部課名	待機児対策室 子ども施設整備課
	<p>足立区環境整備基準に基づき、集合住宅内に小規模保育施設を設置し、運営する予定の事業者について報告する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>足立区環境整備基準 第42条</p> <p>2 事業者は、住戸数（単身者向け住戸を除く。）が100戸以上200戸未満の集合住宅を建設する場合においては、保育施設の設置に努めなければならない。</p> <p>3 事業者は、住戸数（単身者向け住戸を除く。）が200戸以上の集合住宅を建設する場合においては、保育施設を設置しなければならない。</p> </div> <p>1 運営予定事業者</p> <p>(1) 新田地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ①名 称 株式会社明日香（代表取締役 斎藤 浩子） ②所 在 地 神奈川県横浜市西区北幸一丁目4番1号 天理ビル9階 ③運営施設 直営での運営施設はなし。病院内・事業所内保育室の受託運営を開始し、現在は29の院内保育施設等を受託運営している。 ④施設計画 <ul style="list-style-type: none"> ・予定地 新田一丁目8番6号 1階 ・定 員 15名予定（0歳：3名、1歳：6名、2歳：6名） ・案内図 <p>⑤施設の概要等 別紙1「参考資料」参照</p> <p>(2) 島根地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ①名 称 エルシーワークス株式会社（代表取締役 小野澤 智）

- ②所在 地 埼玉県蕨市錦町六丁目7番2号
- ③運営施設 小規模保育施設4園（保育ルーム Ohana 武藏浦和園、外3園）
- ④施設計画
- ・予定地 島根四丁目6番地内 イニシア西新井101号室
 - ・定員 16名予定（0歳：なし、1歳：7名、2歳：9名）

・案内図



⑤施設の概要等

別紙2「参考資料」参照

今後の方針

事業者と連絡を密に取りながら、平成30年4月の開設に向けて進行管理を適切に行っていく。

平成29年11月9日
待機児対策室子ども施設整備課

「足立区環境整備基準に基づく小規模保育施設の設置について」

参考資料（株式会社明日香）

1 施設の概要

(1) 所在地

足立区新田一丁目8番6号 1階

(2) 施設規模等

- ①構 造 鉄筋コンクリート造15階建ての1階の一部
- ②延床面積 79.36平方メートル

2 運営予定事業者の概要

団体名（代表者名）	株式会社明日香（代表取締役 斎藤 浩子）
主たる事務所の所在地	神奈川県横浜市西区北幸一丁目4番1号 天理ビル9F
設立年月日	平成6年8月30日
資本金	2,000万円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 1 ベビーシッターの請負 2 ベビーシッターの養成、教育、指導 3 保育所経営及び企画、設計、運営 4 新規保育事業の開発及びコンサルタント など
事業経歴	平成6年に会社設立以降、居宅訪問型保育サービス、ベビーシッター派遣を中心に業務展開。直営での保育園運営実績はないものの、平成22年より病院内・事業所内保育室の受託運営を開始。現在は29の院内保育施設等を受託運営しているほか、子育て支援センター等の指定管理業務を行っている。
役員	代表取締役 斎藤 浩子 取締役 石井 昭、赤穂 みち子、萩野 吉俗、 森 孝司 監査役 宮内 政光
足立区内での運営実績	無

3 保育所運営方針

(1) 保育所運営方針の概要

私たちは「子どもの最善の利益」を最優先に考えて保育室を運営します。子どもたちが保育室で快適に過ごせるよう家庭的な雰囲気の中で、優しい笑顔とあたたかい心

教育委員会資料

で保育にあたるとともに、安全管理や衛生管理を徹底します。また、一人ひとりが個性や能力を伸ばし、保育士や友達との関わりの中で自主性・社会性を身につけ、健やかに成長できるよう、保育室全体で支えていきます。

(2) 保育方針・理念

- ・お子さまの心に寄り添い、健やかな心身の育成を促します。
- ・基本的な生活習慣を身に付け、自立心をはぐくみます。
- ・友達や家族を大切にする思いやりの心をはぐくみます。

4 収支計画の概要

(単位：円)

		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
収入	補助金	36,664,452	36,664,452	37,228,752	37,228,752	37,228,752
	その他	475,000	475,000	475,000	475,000	475,000
	計	37,139,452	37,139,452	37,703,752	37,703,752	37,703,752
支出	人件費	24,303,300	24,303,300	24,303,300	24,303,300	24,303,300
	管理費	3,390,000	3,390,000	3,390,000	3,390,000	3,390,000
	事業費	3,660,000	3,660,000	3,660,000	3,660,000	3,660,000
	計	31,353,300	31,353,300	31,353,300	31,353,300	31,353,300
差引き		5,786,152	5,786,152	6,350,452	6,350,452	6,350,452

平成 29 年 11 月 9 日
待機児対策室子ども施設整備課

「足立区環境整備基準に基づく小規模保育施設の設置について」

参考資料（エルシーワークス株式会社）

1 施設の概要

(1) 所在地

足立区島根四丁目 6 番地内 イニシア西新井 101 号室

(2) 施設規模等

- ①構 造 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 9 階建ての 1 階の一部
- ②延床面積 74.62 平方メートル

2 運営予定事業者の概要

団体名（代表者名）	エルシーワークス株式会社（代表取締役 小野澤 智）
主たる事務所の所在地	埼玉県蕨市錦町六丁目 7 番 2 号
設立年月日	平成 20 年 6 月 4 日
資本金	800 万円
事業概要	1 保育園の運営 2 託児施設の企画・提案及び託児施設の運営 など
事業経歴	平成 20 年に会社設立し、同年認可外保育施設保育ルーム Ohana を開設。平成 22 年 4 月にさいたま市のナーサリールーム認定を受け、平成 27 年 4 月には小規模保育事業の認可を受ける。同年、武藏浦和園（さいたま市）及び大森西園（大田区）を開設。平成 28 年 4 月には梅屋敷駅前園（大田区）を開設、運営施設は小規模保育事業 4 施設となる。
役員	代表取締役 小野澤 智 取締役 小野澤 美代子
足立区内での運営実績	無

3 保育所運営方針

(1) 保育所運営方針の概要

子どもが愛され、受け入れられる喜びを知るなかで様々な体験を通して、最初の保護者となる私たちが、人間形成の基礎を培うお手伝いをします。また、子どもたち 1 人ひとりをよく観察し、「今この子にとって何が大切か」という視点に立って、保護者の皆様と手を携えた保育を行っていきます。

(2) 保育方針・理念

教育委員会資料

- ・常に子どもたちが安全で、安心してくつろげるような場所を提供する。
- ・子どもたちを家族のように受け入れ、愛情深い関わりの中で子どもたちの心の安定を図り、思いやりの心、命の大切さ、自己肯定感や自立心を育む。
- ・1人ひとりの個性や発達状況をよく観察し、様々な体験を通して心身の成長を促すと共に、豊かな感性や表現力を養い心豊かな保育を行う。ほか

4 収支計画の概要

(単位：円)

		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
収入	補助金	32,400,000	32,400,000	32,400,000	32,400,000	32,400,000
	その他	3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000
	計	35,640,000	35,640,000	35,640,000	35,640,000	35,640,000
支出	人件費	18,220,000	18,757,600	19,311,328	20,460,000	20,460,000
	管理費	5,400,000	5,400,000	5,400,000	5,400,000	5,400,000
	事業費	5,270,000	5,270,000	5,270,000	5,270,000	5,270,000
	計	28,890,000	29,427,600	29,981,328	31,130,000	31,130,000
差引き		6,750,000	6,212,400	5,658,672	4,510,000	4,510,000

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成29年11月9日

件 名	明海大学連携事業 第五中学校と外国人留学生の交流事業の実施について
所管部課名	学力定着対策室学力定着推進課
	<p>連携協定を締結している明海大学より留学生を招き、第五中学校において、生徒との交流学習会を実施した。</p> <p>【日時】平成29年9月12日（火）午後1時20分～3時30分 【場所】第五中学校 【参加留学生】9か国より16名 ネパール、中国、韓国、インドネシア、アメリカ、カナダ、ギリシャ、スウェーデン、スリランカ 【参加中学生】第五中学校3年生 103名 【実施内容】 6名前後の中学生の各グループが、1名の留学生に対して、修学旅行に行った際の見学のポイントをまとめたボードを使って、英語を使った説明をおこない、留学生からの質問に答えた。また、留学生の母国の紹介を英語で受聞き、質問をするなどして文化交流を行った。1回20分の交流を3回おこない、3か国の留学生と英語を使ってコミュニケーションを図った。</p>
内 容	<p>【参加生徒の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今日は本当に楽しかったです！こうやって実際に英語が生かせる機会があるとやる気がでます！！伝わったときは嬉しかったです。これから授業も頑張ります。 ○初めて会う留学生の英語は、普段と違っていて難しく感じた。だけど留学生がゆっくり話してくれたり、分かりやすく言い換えてくれたりしたので、何とか話を続けることができた。 ○留学生の英語を一生懸命に聞き、何とか工夫して自分達のことを伝えることができました。今までよりも少し、自分が成長できたと思います。本日は本当にありがとうございました！！Thank you very much. <p>【参加留学生の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学生の英語がとても上手で、ほとんどの内容を理解することができました。このような機会があれば、是非、また参加したいです。 ○中学生と交流ができる、とても楽しかった。たくさんの写真を用意してくれたので、わかりやすかったです。 次回は私も話すトピックをたくさん用意して望みたいと思います。 ○中学生と話すのはとても楽しかった。 中学生も同じように楽しみ、もっと英語を勉強したいと思ってくれると嬉しいです。
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成29年11月9日

件 名	平成30・31年度 青少年委員の推薦について
所管部課名	子ども家庭部 青少年課
内 容	<p>足立区青少年委員選出要綱に基づき、任期満了となる青少年委員の推薦を10月24日（月）に書記局である区民事務所長連絡会を通じて、各青少年対策地区委員会会長あて依頼した。</p> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各青少年対策地区委員会で選出を検討 ・被推薦人数：104名 ・推薦締切日：平成30年2月9日（金） ・委嘱式：平成30年4月1日（日） 庁舎ホール 出席予定者：教育長、子ども家庭部長、青少年課長 ・案件提出：平成30年3月13日（火）定例教育委員会
今後の方針	推薦締め切り終了後、議案事項として教育委員会へ提出し、委嘱の承認後、選出要綱に基づき各委員候補者あて委嘱式の案内通知を発送。

教育委員会情報連絡 事業実施報告（10月）

青少年課

行事名	実施日	会場	参加者数
中高生の居場所づくり	毎週水・日曜日 (9回)	新田地域学習センター他	延べ 8人
	毎週水・土曜日 (7回)	東京未来大 福祉保育専門学校	10人
	第3土曜日(2回)	神明住区センター	2人
成人の日の集い 実行委員会(第10・11回)	11日(水) 25日(水)	本庁舎	各10人
ふれあい動物教室	14日(土)	皿沼小学校	92人
		辰沼小学校	76人
	21日(土)	栗島小学校	72人
星空観察講座	14日(土)	ギャラクシティ	15人
サイエンスラボ 科学ブロックくらぶ	14日(土)	ギャラクシティ	10人
	15日(日)		12人
サイエンスラボ ロボットくらぶ	15日(日)	ギャラクシティ	10人
紙芝居講座	17日(火)	ギャラクシティ	13人
星空撮影講座	21日(土)	ギャラクシティ	20人
科学工作講座	22日(日)	ギャラクシティ	10人
Gユニワークショップ	28日(土)	ギャラクシティ	30人
ミニプラネタリウム投映	28日(土)	ギャラクシティ	200人
キャンプの達人	29日(日)	宮城ゆうゆう公園	8人
ジュニアリーダー スーパー研修会	29日(日)	本庁舎	47人

教育委員会情報連絡 事業実施・予定（11月）

青少年課

行事名	実施日	会場	参加予定数
中高生の居場所づくり	毎週水・日曜日 (9回)	新田地域学習センター他	25人
	毎週水・土曜日 (8回)	東京未来大 福祉保育専門学校	10人
	第1・3土曜日 (2回)	佐野住区センター	5人
ギター講座	5日(日)	ギャラクシティ	10人
成人の日の集い 実行委員会(第12・13回)	8日(水) 29日(水)	本庁舎	各10人
大学遠足	9日(木) 25日(土)	帝京科学大学 上の原キャンパス	千寿小86人 クリスマスウイレッジ19人
星空観察講座	11日(土) 25日(土)	ギャラクシティ	各10人
ブロック講座	11日(土) 19日(日) 25日(土)	ギャラクシティ	各10人
ふれあい動物教室	11日(土)	宮城小学校 閑原小学校	93人 136人
ジュニアリーダースーパー研修会	12日(日)	ギャラクシティ	47人
あだち日曜教室	12日(日)	島根小学校	45人
足立区民ふれあい 計算フェスティバル	12日(日)	勤労福祉会館	423人
科学工作講座	12日(日)	ギャラクシティ	10人
サンタクロース講座	17日(金)	ギャラクシティ	10人
あそびのフリマ	18日(土)	アリオ西新井	300人
ロボット講座	19日(日)	ギャラクシティ	10人
紙芝居講座	21日(火)	ギャラクシティ	15人
親子体験キャンプ	26日(日)	舍人公園キャンプ場	50人

行事実施結果（10月1日～10月31日）

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

日 時	行 事 名	時 間	会 場	主催 別	参加人数
10/4～11/1 毎（水）	あだちこどもサポーター養成講座 「子どもと遊ぶおりがみ教室」	10:00～11:45 10/25 のみ午後	生涯学習センター 10/25 実習校 皿沼小学校 花畠小学校	主催	85名
10/4（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「ミニコンサート&楽器体験」	14:30～15:30	千寿桜小学校	主催	72名
10/5（木）	放課後子ども教室 「新任スタッフ安全管理講習会」	10:00～11:30	生涯学習センター	主催	28名
10/6（金）	放課後子ども教室スタッフ研修Bコース 「気になる子どもへの理解」	10:00～12:00	ギャラクシティ	主催	85名
10/8（日）	足立ジュニア吹奏楽団 あだちプラスバンドフェスティバル	①12:15～12:30 ②13:15～13:30	西新井文化ホール	共催	1,734名
10/9（月・祝）	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 第70回あだち区民体育大会総合開会式	9:00～10:00	総合スポーツ センター	共催	524名
10/9（月・祝）	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 スポーツカーニバル	11:15～11:45	総合スポーツ センター	共催	3,807名
10/12（木）	小学校アウトリーチコンサート	2限 9:30～10:15 3限 10:30～11:15 5限 13:15～14:00	鹿浜五色桜小学校	主催	92名
10/13（金）	小学校アウトリーチコンサート	3限 10:35～11:20 4限 11:35～12:20 5限 13:45～14:30	梅島小学校	主催	136名
10/13（金）	放課後子ども教室体験プログラム 「フラッグ鬼ごっこ」	14:30～16:30	千寿双葉小学校	主催	40名
10/16（月）	放課後子ども教室体験プログラム 「フラッグ鬼ごっこ」	15:45～16:45	中島根小学校	主催	50名
10/19（木）	あだちこどもサポーターフォロー講座 「ボランティア活動とは」	10:00～12:00	生涯学習センター	主催	9名

日 時	行 事 名	時 間	会 場	主催 別	参加人数
10/24 (火)	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:30~17:00	寺地小学校	主催	23名
10/25 (水)	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:00~16:30	花保小学校	主催	37名
10/25 (水)	放課後子ども教室体験プログラム 「ビブリオバトル」	15:00~15:30	北三谷小学校	主催	36名
10/26 (木)	放課後子ども教室スタッフ研修Bコース 「気になる子どもへの理解」	10:00~12:00	生涯学習センター	主催	78名
10/27 (金)	放課後子ども教室体験プログラム 「フラッグ鬼ごっこ」	15:40~16:45	東栗原小学校	主催	40名
10/27 (金)	あだちアートリンクカフェ公開講座 テーマ:自分の「からだ」と対話する ～「からだの動き」はどこからやってくる?～	19:00~20:30	生涯学習センター	主催	25名
10/28 (土)	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 東京ドームシティ・ハロウィンキッズ パレード 2017	①11:00~12:00 ②14:00~15:00	東京ドームシティ アトラクション内	共催	中止 (台風 22 号 接近ため)
10/30 (月)	放課後子ども教室体験プログラム 「どうぶつしようぎ」	14:30~16:45	舎人第一小学校	主催	44名
10/31 (火)	あだちこどもサポートフォロー講座 「楽しい子どもとの接し方」	10:00~12:00	生涯学習センター	主催	35名

事実施予定（11月1日～11月30日）

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

日 時	行 事 名	時 間	会 場	主催 別	参加予定人数
10/4～11/1 毎（水）	あだちこどもサポーター養成講座 「子どもと遊ぶおりがみ教室」	10:00～11:45 10/25のみ午後	生涯学習センター 10/25 実習校 皿沼小学校 花畠小学校	主催	24名
11/1（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「ミニコンサート&楽器体験」	15:00～16:00	梅島第二小学校	主催	20名
11/3 (金・祝)	運動機能向上のプログラム ～高齢者指導～ ①基礎理論編 ②実践指導法	①10:00～12:00 ②13:00～15:00	生涯学習センター	主催	30名
11/4（土）	歓喜の演 Vol. 16 狂言 遊びをせんとや Part10 創作狂言 お伽草子その参～空に舞え～	14:00～16:00	西新井文化ホール	共催	900名
11/5（日）	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 三星こどもバザー	10:45～11:00	三星保育園	共催	200名
11/16（木）	放課後子ども教室スタッフ研修 C コース 「遊びの見本市」	10:00～12:00	生涯学習センター	主催	70名
11/17（金）	放課後子ども教室体験プログラム 「ビブリオバトル」	15:00～15:30	千寿本町小学校	主催	30名
11/20（月）	放課後子ども教室体験プログラム 「おもちゃ講座」 企業連携講座 イワヤ株式会社	14:50～15:50	大谷田小学校	主催	30名
11/21（火）	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:30～17:00	寺地小学校	主催	38名
11/22（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:00～16:30	花保小学校	主催	46名
11/24（金）	第63回あだちアートリンクカフェ 「世界の室内楽シーンのトレンド(仮)」	18:30～20:00	東京芸術センター	主催	30名
11/29（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15:00～16:30	花保小学校	主催	46名
11/29～12/6 毎（水）	おりがみサポーターレベルアップ講習	10:00～11:45	生涯学習センター	主催	50名